



南部町立南部中学校 学校だより R7 第15号

城山の風

令和7年11月4日(火)

校長 樋口 信也

学力向上をめざして

学校だより第5号でお伝えしましたが、学力向上をめざした南部中学校学力向上プロジェクトを進めています。当初は、学年単位での勉強会を基本として月1回は全校でと考えていましたが、全校同じ場所で行った方が勉強をするぞという雰囲気になることが分かり、現在は全校がランチルームに集まって行っています。他学年、特に受験生である3年生の勉強に取り組む姿を見ることは下級生の刺激になります。教員もそこに集まり、机間巡視をしながら生徒の質問に答えたりしています。全校同じ場所で行うことで、全ての教科の教員が集まるので、どの教科にも対応できるというメリットもあります。今は給食の時のように学年ごとに座っていますが、学年を混ぜて行うなどの試みも考えています。



なお、定期テスト前の放課後学習会も同じように行うことにしました。

思春期体験学習

10月24日(金)に3年生を対象に思春期体験学習を行いました。峡南教育事務所・南部町福祉保健課と連携し、南部町愛育会の協力を得て毎年行っています。

前半は、思春期保健相談士で看護師の福田紀恵さんに「中学生に伝えるいのち」と題してお話をいただきました。お話の最後に、出産を迎える家族の様子を映した映像を見ました。どうしてものかを具体的に言葉にはできないのですが、自然と涙が出てきました。

後半は、妊婦体験や人形を使った赤ちゃんのお世話体験(抱っこやおむつ替えの仕方)、赤ちゃんのいるご家庭に協力していただいた赤ちゃん抱っこ体験をしました。

生徒たちは、親のどういう思いの中で生まれ育てられてきたか考えたのではないのでしょうか。現在思春期でこれから大人になっていく中学3年生にとって、大切で必要な体験学習でした。



音楽発表会に向けて

11月22日（土）の音楽発表会に向けて合唱練習に取り組んでいます。校長室のドアを開けておくと、朝や放課後に歌声や伴奏練習のピアノの音が聞こえてきます。先日は青洲高校音楽部のみなさんが合唱指導に来てくださいました。また、音楽部の合唱やミュージカル形式の発表を聴くこともできました。最後のレ・ミゼラブルの「民衆の歌」は特に感動しました。合唱の取組を通して、歌を楽しむことはもちろん、みんなで1つのものを創り上げるやりがいや楽しさも感じてほしいと思います。



蒙軒塾

10月28日（火）から3年生対象の放課後学習会「蒙軒塾」が始まりました。南部町教育支援センターと連携して行っているもので、町内在住の教員OBの方々が来校し、11月6日までの計5回学習指導をしていただいています。なんぶ未来塾もですが、こうしてボランティアで学習支援をしていただくことは本当にありがたいことだと思います。



福祉健康まつり

10月3日（金）に南部町社会福祉協議会主催の福祉健康まつりが開催されました。本校からは、2年生の國友美月さんが福祉作文を発表しました。職場体験で身延山病院に行き、看護師さんの仕事の様子や車椅子体験、高齢の患者さんとのふれあいから、「福祉とは誰かの幸せを支えること」を学んだと発表しました。



先日の輝城祭、今回紹介した思春期体験学習、青洲高校音楽部による合唱指導、蒙軒塾、来月に予定している資源回収など、いろいろな人に支えられていることを実感します。ありがとうございます。